

(参考資料)
本県で想定される災害リスク

防災危機管理課

1. 本県で過去に発生した主な災害

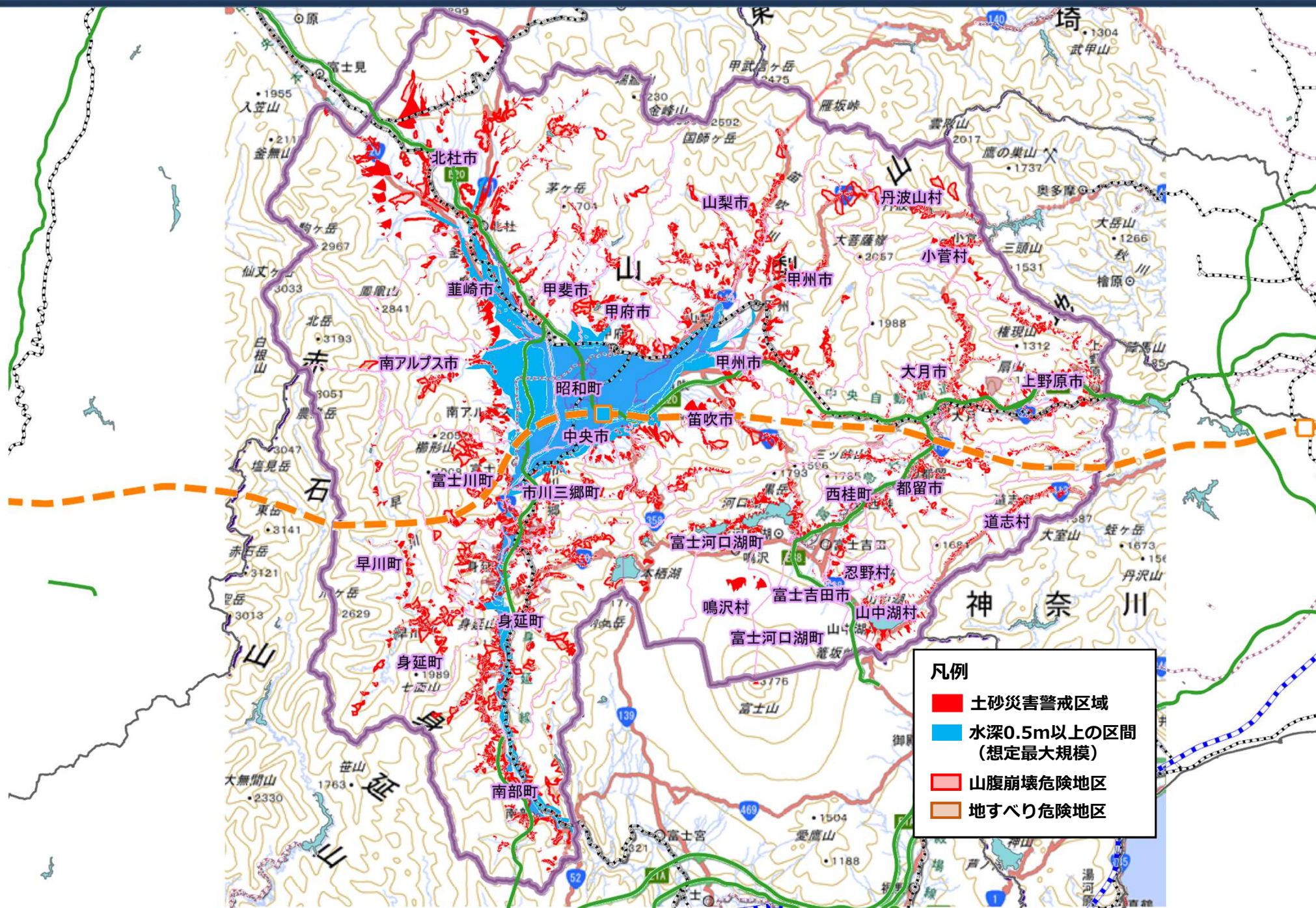
発生年	主な山梨県内の水害
1959年	8月 台風7号により1907年以来の大被害 特に釜無川・大武川・早川・重川で土石流による被害甚大 死者90人、負傷者794人
1959年	9月 台風15号（伊勢湾台風）により被害が拡大 死者15人
1961年	6月 梅雨前線豪雨により東山梨郡の大沢山で崖崩れ、倒木と土砂が西の沢をせき止め、29日土石流となって牧丘町（北原地区）を襲い、死者5人
1966年	9月 前線・台風26号豪雨のため足和田村（根場地区）等で土石流が発生 死者175人
1982年	8月 台風10号豪雨により大月市浅川地区・秋山村無生野地区で土石流が発生、早川の氾濫で早川町の一部が孤立 死者7人
1983年	8月 5号・6号と続いた台風の豪雨により大月市・富士吉田市の東部で被害拡大、道路・鉄道等全交通機関が不通、死者3人
1991年	8月 台風12号豪雨により大月で日雨量395mm 大月市の国道20号で土砂崩壊、死者7人
2000年	9月 秋雨前線と台風14号による大雨で県の中西部に被害が集中 甲府で24時間雨量294.5mm、床上浸水102戸、床下浸水525戸
2003年	8月 台風10号により県内で大雨 死者1人
2004年	10月 台風23号により県内で大雨 甲府市善光寺町で土砂崩れ発生、床上浸水57戸
2011年	9月 台風第12号による大雨と暴風 半壊1戸、一部破損3戸、床下浸水13戸 土石流等8件、地すべり1件、がけ崩れ8件
2017年	10月 台風第21号及び前線による大雨及び暴風等 一部損壊1戸、床上浸水2戸、床下浸水7戸 土石流等1件、地すべり1件、がけ崩れ1件
2018年	9月 台風第24号による暴風・大雨等 半壊8戸、一部破損82戸、床上浸水5戸、床上浸水3戸 土石流等1件、がけ崩れ2件、負傷者（軽傷）1名
2019年	10月 台風19号による大雨により、大月市の国道20号で橋梁陥没 勝沼・大月・上野原・富士川・古関・切石・南部の気象台観測所で日最大雨量を更新 床上浸水2戸、床下浸水3戸、土砂流入3戸

発生年	主な大規模地震時の山梨県の被害
1923年	『関東大震災』 9月1日 11時58分発生 M7.9 甲府 震度6 県内死者20人
1944年	『東南海地震』 12月7日 13時35分発生 M7.9 甲府 震度5 県内負傷者2人
1983年	『山梨県東部地震』 8月8日 12時47分発生 M6.0 甲府 震度4 県内負傷者5人
2011年	『東日本大震災』 3月11日 14時46分発生 M9.0 三陸沖東方 70km 震源の深さ 24km 甲府 震度5弱 中央市,忍野 震度5強 ※山梨には直接の人的物的被害なし。
2011年	『静岡県東部地震』 3月15日 22時31分発生 M6.4 富士山頂南 4~5km 震源の深さ 14km 甲府 震度4 忍野村,山中湖,河口湖 震度5強 ※山梨には直接の人的物的被害なし。

※水害：死者が出たもの及び浸水被害、土砂災害等10戸以上の被害が生じたものを抽出
地震：県内震源地はM6.0以上かつ県内震度4以上
県外震源地はM6.0以上かつ県内震度5以上 を抽出

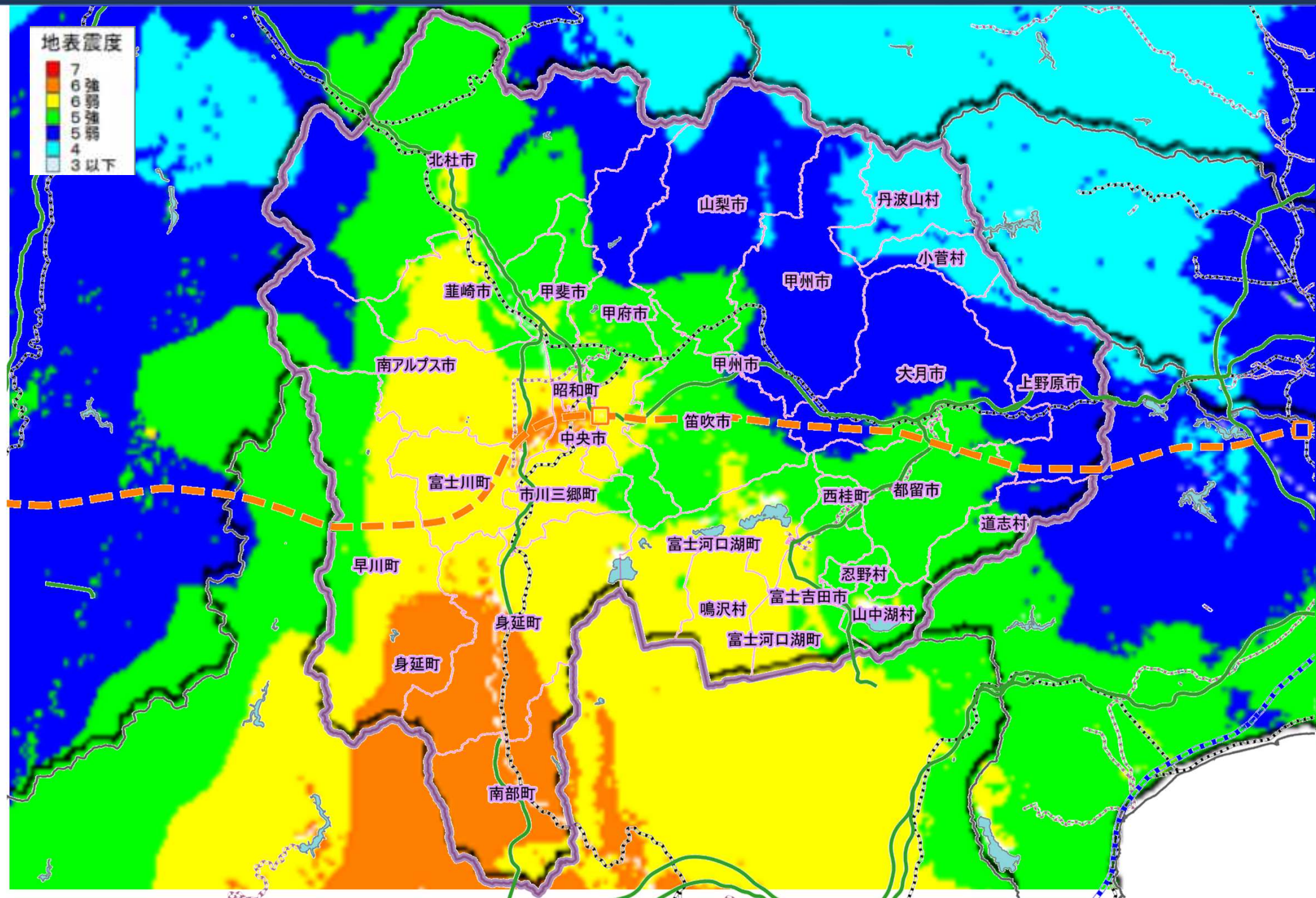
出典：気象庁、山梨日日新聞社、甲府市災害史、山梨県立博物館、資料より作成

2. 浸水想定区域・土砂災害警戒区域・山地災害危険地区



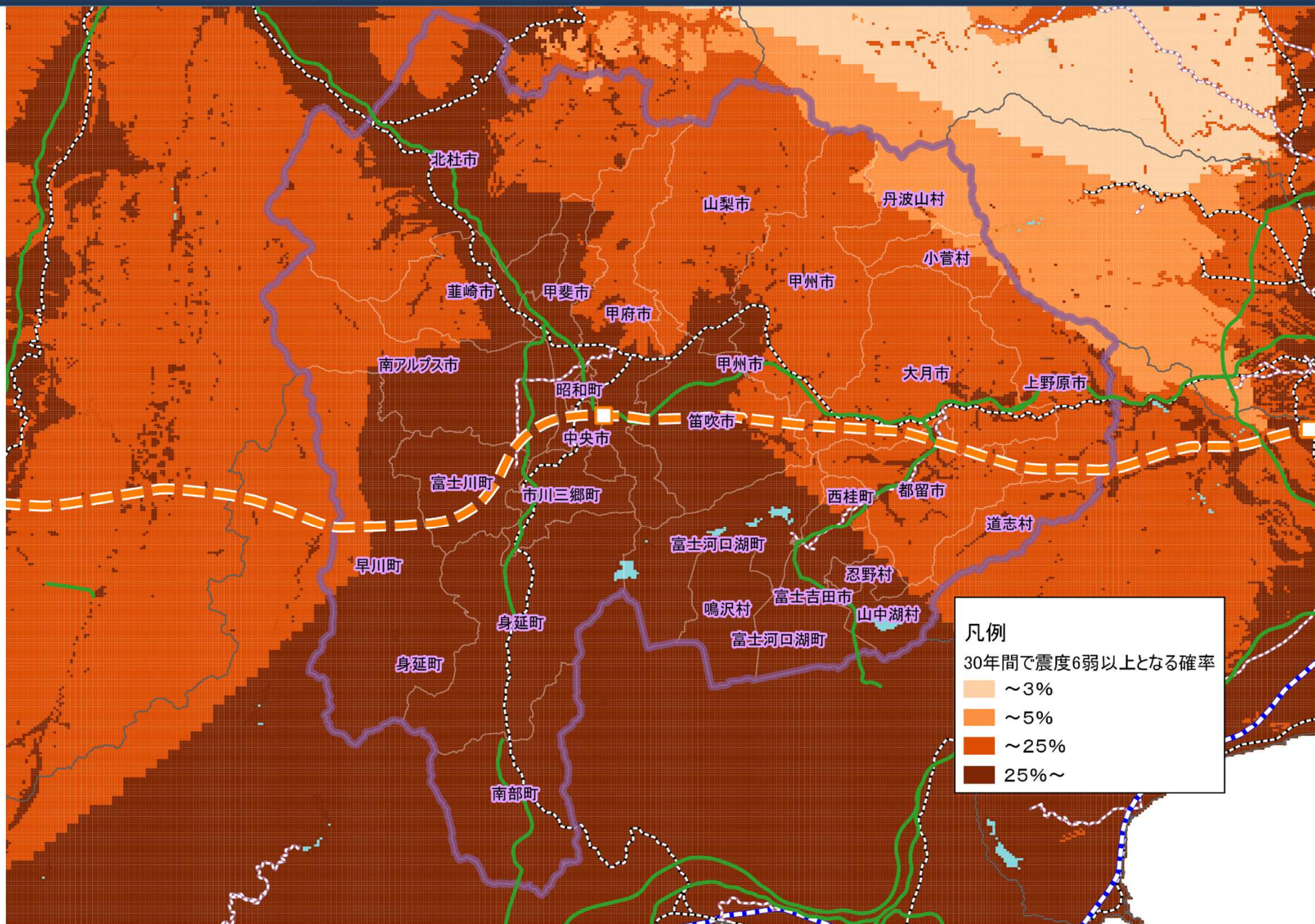
出典：浸水想定区域：国土交通省甲府河川国道事務所「富士川流域浸水想定区域図」（2017年3月）、山梨県「浸水想定区域」（2019年6月）
 土砂災害警戒区域：国土交通省「国土数値情報 土砂災害警戒区域データ」（2018年8月1日時点） 山地災害危険箇所：山梨県「山地災害危険地区情報」（2019年11月）

3. 震度想定（南海トラフ地震）



出典：内閣府「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」震度分布図（基本ケース）

4. 30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布



5. 活断層の状況

